

活用しよう！

小学校消費者教育教材



A 「フェアトレードマスターをめざそう」

B 「写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費」

掲示教材 指導ガイド

消費者教育において小学生期は、主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期とされています。そこで浜松市は、持続可能な社会の構築に参画する消費者市民の育成を図るため、フェアトレードとエシカル消費をテーマとした小学生向けの掲示教材を作成しました。本ガイドを参考に、学年・教科・領域を問わず様々な場面でご活用ください。

A フェアトレードマスターをめざそう

フェアトレードとは、発展途上国の原料や商品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のことです。この掲示教材は、フェアトレードを知らない児童がフェアトレードについての理解を深めるためのものです。チョコレート为例に、START から順番に読み進むことで、生産の裏側には貧困や児童労働の問題があることを知り、フェアトレードはその解決につながる「貿易のしくみ」であることを理解します。さらに、浜松市は日本で4番目に認定されたフェアトレードタウンであり、フェアトレードを通して一人一人がどのように社会と主体的にかかわるかを考えることで、フェアトレードマスターになることを目指すものです。



B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年に国連で採択された、世界の課題を解決する具体的な目標のことです。人や社会、地域、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費は、SDGsと深く関連しています。児童がこの掲示教材の写真を見て、地球が抱える問題に気づき、それらが私たちの暮らしと深くつながっていることを理解します。また、グループでの話し合い活動を通して課題解決に主体的に取り組み、深い学びへつなげることができます。児童がエシカル消費に関係するマークを探したり、学校や家庭でできることを具体的に考えたり、行動したりすることで、持続可能な社会の実現を目指すものです。



■ 教材作成プロジェクト委員(敬称略) この教材を共に作成しました。

川村里枝(積志小校長) 山田真代子(城北小校長) 嶋田喜守(指導課指導主事)

米山香奈(大瀬小) 鈴木明日佳(鴨江小) 増井葉子(和地小) 鈴木慧史(和地小)

伊藤陽子(笠井小) 鈴木やよい(蒲小) 鳥居恒平(可美小)

A フェアトレードマスターをめざそう

教材の紹介

QRコードは「はままつフェアトレードマップ」へつながります



【参考資料】

浜松市「浜松から未来をひらくエシカル消費 -SDGsの達成に向けた消費者市民としての行動-」



浜松市「ぼくたち・私たちの消費行動が世界を変える！フェアトレード」



フェアトレード商品を示すマーク

マーク		
名称	国際フェアトレード認証ラベル	世界フェアトレード連盟保証ラベル
意味	商品の原料が生産され、輸出入、加工、製造されるまでの間に、国際フェアトレード機構が定めた基準を満たしたことを示す。	世界フェアトレード連盟に加盟し、生産者の労働条件、賃金、児童労働、環境などの基準を守っていると保証された団体の商品につけられる。

※マークがついていないフェアトレード商品(団体や企業の独自の基準により販売されているもの)もあります。

薬の散布や刃物の使用などにより子どもの身体に危険をもたらすことも問題です。5～17歳の児童労働者数は1億5200万人※と推計され、世界の子どもの10人に1人にあたります。

※2017年国際労働機関(ILO)の報告書による



チョコレートの原価

100円のチョコレートの販売価格から工場や販売店にかかる費用、輸送費が引かれると、カカオ農家が手にするお金はわずか3円程です。カカオはロンドンやニューヨークで取引されており、安い取引価格のしわ寄せがカカオ農家にいき、経済的貧困が原因で児童労働が行われる現状にあります。

【参考資料】渡辺龍也監修「考えよう!やってみよう!フェアトレード ① フェアトレードって、なんだろう?」



チョコレートの原料

長さ20cm程のラグビーボールのような形の殻で覆われている実(カカオポッド)に、パルプと呼ばれる甘く白い果肉に包まれた30～40粒の種子(カカオ豆)が入っています。



カカオの主な産地※

カカオは赤道の南北緯度20度以内、年間平均気温27度以上の高温・多湿な地方で栽培される熱帯植物です。主な産地は西アフリカ、東南アジア、中南米です。 ※国際ココア機関(ICCO)カカオ統計2018/2019第3刊より、カカオ豆生産量上位10カ国を赤色で表示



児童労働

私たちが食べているチョコレートの原料であるカカオは、海外から輸入されています。カカオ農園は小規模な家族経営であることが多く、子どもが重要な労働力となっている場合があります。児童労働は子どもの教育の機会を奪うだけではなく、農



フェアトレード食材を使った給食

フェアトレードタウン認定1周年を記念して、2018年11月に引佐学校給食センターでフェアトレードのいりごまとごま油を使った給食が提供され、これを機に児童生徒はフェアトレードについて学びました。2019年には引佐に加えて、浜北学校給食センターでも同様の取組が実施されています。



フェアトレードを通して一人一人が社会と主体的にかかわる方法

消費者が公正で持続可能な社会づくりに積極的に関わる社会を、「消費者市民社会」といいます。小学生も社会の一員として何ができるかを考え行動していくことで、作る人も買う人もみんなが笑顔になる社会が実現します。

A フェアトレードマスターをめざそう



教材活用例

対象学年	教科等	単元・題材名	主な学習内容	掲載ページ
3年	学級活動	フェアトレードマスターになろう	フェアトレードのマークや意味を知り、自分の消費行動について振り返る。	P4
5年	家庭科	じょうずに使おう お金と物 ～目指せ、買い物の達人～	商品を選ぶ際の情報の1つとしてフェアトレードのマークを知り、目的に合った物の選び方を考える。	P5
6年	社会科	世界の未来と日本の役割 ～フェアトレードから考える 持続可能な社会～	フェアトレードをきっかけに、国際社会において日本が果たしている役割について考える。	P6
6年	学級活動	フェアトレードについて考えよう	フェアトレードの「貿易のしくみ」について知り、問題を解決するためにできることを考え、行動につなげる。	P7



他にも、こんな活用ができます！

- ・「やってみたいこと」に各自でシールを貼る活動呼び掛け、意欲付けを図る。
- ・生活科のお店探検の中で「フェアトレード商品」集めを行い、様々な商品に広がっていることを体感する。
- ・総合的な学習の時間の地域学習として「フェアトレードタウン」について学ぶ導入として扱う。

フェアトレードは、商品の購入を通して、世界とのつながりを学ぶきっかけを与えてくれます。グローバル化の進む社会において、日本に住む私たちに何ができるかを学ぶ資料としても活用していきたいです。



城北小校長 山田真代子先生

フェアトレードタウン浜松

フェアトレードタウンとは、市民、市民団体、事業者と行政が一体となり、まちぐるみでフェアトレードを推進する自治体のことです。浜松市は市民団体のはままつフェアトレードタウン・ネットワークが中心となり活動をすすめ、議会による支持決議と首長による支持表明を経て、2017年11月に国内で4番目のフェアトレードタウンの認定を受けました。また、2018年2月には静岡文化芸術大学がアジアで初のフェアトレード大学になりました。

浜松市は、フェアトレードタウンの活動推進とさらにはエシカル消費の推進を通して、人や社会、地域、環境に配慮したより良い未来を目指しています。



はままつフェアトレードタウン・ネットワークの活動についてはこちら



A フェアトレードマスターをめざそう

対 象 : 3年生
教 科 等 : 学級活動
題 材 名 : フェアトレードマスターになろう



フェアトレードのマークやその意味について紹介することを通して、児童が買い物の際に商品を確認して選んだり、自分たちができることを考えたりするきっかけ作りになります。

フェアトレードのマーク
って知ってる?
↓
どんな商品について
いるのかな?
↓
どんな意味があるの
かな?



拡大したものを
テレビに映して
児童に提示



<児童の感想>
フェアトレードという新しい言葉と
マークを習ったから、お店に行って、
早く見つけてみたいと思いました。
世界には学校に通えずに、働いている
子どもが多くいるんだ。

わたしは、今までフェアトレードのマー
クがあるなんて知りませんでした。お母
さんに「フェアトレードのマークって知
ってる?」と聞いてみたいです。



和地小 増井葉子先生

フェアトレードのマークを初めて見たという児童がほとんどで
した。これを機会に児童が興味をもって買い物をしたり、家庭で
も話題にしたりできるとよいと思います。社会科や家庭科の学
習にもつなげ、自分たちの問題としてさらに学習を深めていけ
るのではないのでしょうか。

A フェアトレードマスターをめざそう

対 象：5年生
 教科等：家庭科
 題材名：じょうずに使おう お金と物
 ～目指せ、買い物の達人～



浜松市が平成28年度に作成した消費者教育教材キットを活用し、筆箱を選ぶ活動を通して、適切な物の選び方を考えさせます。物を選ぶ際の情報の1つとしてマークがあることを紹介する中で、フェアトレードのマークを取り上げます。



実際にチョコレートを見せながら
 児童にどれを選ぶか投げ掛ける

商品についているフェア
 トレードのマークを拡大し
 て児童に提示



掲示物の一部を隠して、児童への
 発問に合わせて、少しずつ内容を
 見せながら授業を進めました



浜松市小学校家庭科消費者教育教材
 第5学年「筆箱を選ぶ」の活用

フェアトレードという言葉やマークを初めて知った児童
 がほとんどでした。自分の目的に合った物を選ぶ際の選
 択肢の1つとして、これからの消費生活に活かしていこう
 とする意欲付けになります。



大瀬小 米山香奈先生

A フェアトレードマスターをめざそう

対象：6年生
 教科等：社会科
 単元名：世界の未来と日本の役割
 ～フェアトレードから考える持続可能な社会～



全てに注目！

この単元では、「世界には解決すべき課題がいくつもあり、日本の人々はこれらを解決するために、国際連合や青年海外協力隊、NGO などの活動を通して積極的に世界の平和と発展に貢献している」ことを学びます。今回の実践は、単元の導入としてフェアトレードの事例を扱います。



掲示物の一部を隠して、クイズを取り入れて授業を進めました

フェアトレードの事例から、単元の学習問題を考えました

世界の未来と日本の役割 ～フェアトレードから考える持続可能な社会～ 名前（ ）



問5 () を作っている人の中にこんな人たちがいます。世界では約 10 人に 1 人の子供が学校に行けずに働いています。学校に行けず、働いている子供の数は日本の人口より (多い・少ない)・・・(7 億 約 1億3千万 人)【ILO 推計】

問6 なぜ、この子達は学校に行くことができないのでしょうか？

予想
 学校からの道のりが遠かったり、道が整っていない、多量さでない、父母が他界？

実際は・・・
 働かざるを得ない人は 約 7 億 約 1億3千万

どうしたら問題解決できるでしょうか・・・？
 他の作物を作る チョコを買う 資金貯る



和地小 鈴木慧史先生

「持続可能な社会」「SDGs」については、『新しい社会 6政治・経済編』PI04-105で学習します。
 身近なチョコレートを入り口に、国際協力について考えることは、公民的資質を育てていくことにつながります。

A フェアトレードマスターをめざそう

対 象 : 6年生
 教 科 等 : 学級活動
 題 材 名 : フェアトレードについて考えよう



フェアトレードについて考える活動を行い、フェアトレードとはどんなものなのか、掲示教材を見せながら説明します。その後、小学生ができることは何かを話し合います。

このマーク
初めて見た!

授業の最後に振り返りの時間を設ける



このマーク
見たことある?

フェアトレードって
何だろう?

私たちにできること
はあるかな?

<児童の感想>

世界には学校に通えずに、働いている
子どもが多いのかな。

フェアトレードについて
 フェアトレードとは、アフリカなどで学校に行けない人
 々の手助けをするための活動と初めて知りました。学校に行
 かなきゃ入らな仕事をしてるのかわいそうだな
 なと思いました。買い物について、自分か買
 い物したるときは、フェアトレードマークに
 気をつけて買いたいです。母にも教
 えたいなと思いました。
 (カカオ作りをする子大吏)



フェアトレードという言葉は初めて耳にした児童がほとんどで
 した。しかし、毎日の買い物が苦しんでいる人を救う手段の一つで
 あることを知り、「フェアトレードの商品は少し高いから、いつも買
 うことはできないけれど、お金に余裕があるときは買ってみる」、
 「スーパーマーケットでマークを探すと自分にもできそう」
 等、ノートに記述していました。持続可能な社会を目指すためのい
 い機会になったと思います。



鴨江小 鈴木明日佳先生

B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費

教材の紹介

QRコードは「浜松から未来をひらくエシカル消費」関連ページへ

課題解決につながるエシカル消費のヒント（同じ色の枠で関連を示している）



SDGsがエシカル消費に深く関連していることを示す

このQRコードのみ「静岡県海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」HPへ

関連するSDGsのアイコン例

エシカル消費に関連するマーク

食料自給率

イラスト:日本の食料輸入(日本の食料自給率は2018年度37%)がストップした場合の食事例。

【参考資料】農林水産省「食料需給表」(2018年度)、「ニッポン食べもの力見つけ隊」 ※肉、卵については飼料自給率を考慮した値。

➡地産地消を意識している?静岡県や浜松市で生産される農作物には何かがあるか調べよう。

食品ロス

写真:まだ食べられるのに廃棄された食品。日本では年間約643万トンの食品ロスが発生していると推計されている。(2016年度)

➡食べられるように買っている?食品ロスを減らすためにできることを考えよう。

森林破壊

写真:紙やパーム油製品に使われる原料を生産するために森林が伐採され、環境や生態系、人の暮らしが脅かされている。

➡FSCのマークを知っている?意味を調べて、どんなものについているか探してみよう。浜松市は「FSC森林認証」面積が市町村別で全国1位。(2020年1月現在)

児童労働

写真:ガーナのカカオ農園で働く子ども。収穫したカカオをナタで割る仕事のほか、木に登ってカカオの実を収穫したり運んだりといった危険な仕事に従事する子どもも多くいるといわれている。

➡フェアトレードのマークを知っている?意味を調べて、どんなものについているか探してみよう。(国際フェアトレード認証ラベルの詳細はP2へ)

SDGs(持続可能な開発目標)


貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさの恩恵を受けることができるようにすることを目指す17の国際目標。地球上に「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っている。私たち一人一人が身近な社会課題を「自分ごと」として考え行動することが、この目標を達成する第一歩となる。

海洋プラスチック

写真:プラスチックごみによる海の汚染が深刻化し、海の生態系に甚大な影響を与えている。また、マイクロプラスチックは人を含む生物の身体や繁殖などにどのような影響を及ぼすか心配されている。

➡エコバッグを使っている?使い捨てのプラスチックごみを減らすためにできることを考えよう。

エシカル消費に関連するマーク

マーク					
名称	MSC 認証 (海のエコラベル)	ASC 認証	有機 JAS マーク	レインフォレスト・アライアンス認証	RSPO 認証
マークの意味	持続可能な漁業で獲られた天然の水産物につけられる。	責任ある養殖管理のもとで生産された水産物につけられる。	農薬や化学肥料を使用せずに作られた食品につけられる。	環境保全、労働環境向上などの基準を満たす製品につけられる。	持続可能に生産されたパーム油を使った製品につけられる。
マーク					
名称	PET ボトルリサイクル推奨マーク	Rマーク (再生紙使用マーク)	グリーンマーク	エコマーク	FSC® 認証
マークの意味	使用後のペットボトルをリサイクルした製品につけられる。	再生紙を使用した製品につけられる。数字は古紙の割合を表す。	原料に古紙を規定割合以上利用している製品につけられる。	生産から廃棄までを通し、環境に配慮された製品につけられる。	適切な森林管理がされている木材や木材製品につけられる。

B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費



教材活用例

対象学年	教科等	単元・題材名	主な学習内容	掲載ページ
3年	社会科	はたらく人とわたしたちのくらし ～お店ではたらく人～	店の工夫と消費者の願いの関連を知り、自らや家庭の消費行動について考える。	P10
6年	家庭科	家族のために作ろう！ 1食分のこんだて	商品を選ぶ際の無駄のない消費行動について考え、自らの生活を振り返り、改善につなげる。	P11
全校 4年 5年 6年	朝会 社会科 学級活動 家庭科	SDGs未来都市浜松 ～あなたは、何を考える？～	浜松がSDGs未来都市であることを知り、達成を目指す17の目標から自分にできることを考える。	P12



他にも、こんな活用ができます！

- ・廊下に掲示し、参観会で保護者に見ていただき、懇談会にて紹介をする。
- ・5年家庭科「じょうずに使おう お金と物」の学習で、FSCのマークやエコバッグなどについてふれる。
- ・5年社会科「私たちの生活と食料生産」の学習で、食料自給率や森林破壊についてふれる。
- ・学級活動で食育指導を行う際、食品ロスのことを扱う。

浜松市は、消費者教育に力を入れています。様々な教科・領域で掲示教材を活用して、先生方はもちろん、児童や保護者にも少しずつ理解を深めてもらえたらいいと思います。



笠井小 伊藤陽子先生

エシカル消費とSDGs

「エシカル消費」とは、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動のことをいいます。日々の買い物で何を選ぶのかという決定は、社会に大きな影響を与えます。そのため「お買い物は商品・企業への『投票』です!」ともいわれます。また、購入したものをどう使い、どのように捨てるかも社会や環境に影響を与える行為です。

地球温暖化による異常気象や海洋プラスチック問題など、地球上の問題を解決するために、2015年に国連で採択された国際目標がSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)です。2030年までに持続可能な社会を実現するため、17の目標と169のターゲットが設定されています。小学生はもちろん、誰もが消費者です。身近な題材から課題解決を図るエシカル消費の実践は、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」の達成につながるものです。これは、2020年から始まる学習指導要領の前文に示された「持続可能な社会の創り手」を育むことにつながります。

12 つくる責任
つかう責任



B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費

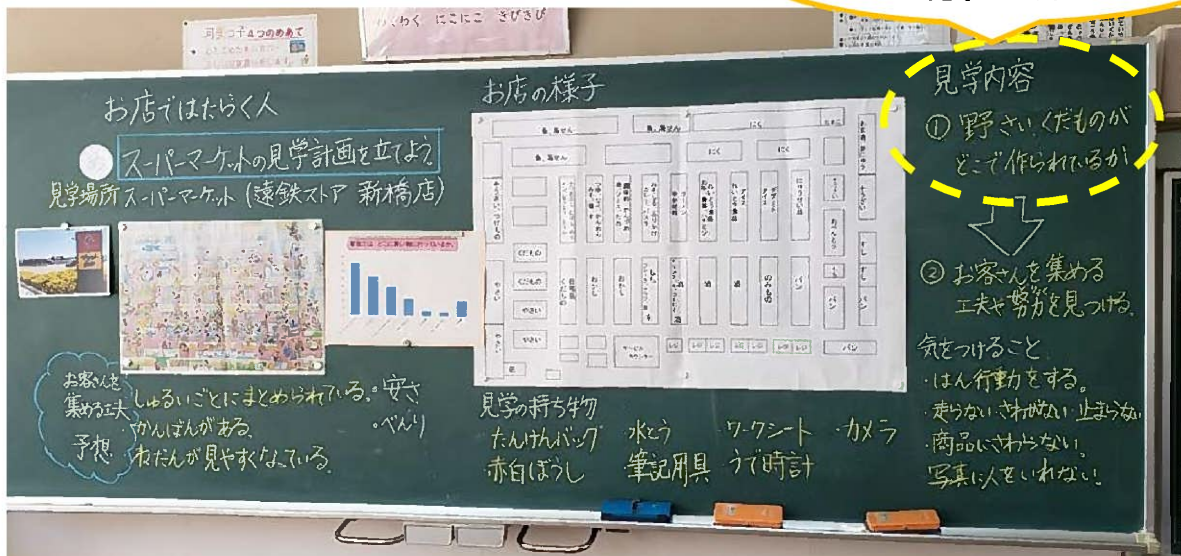
対象：3年生
 教科等：社会科
 単元名：はたらく人とわたしたちの暮らし
 ～お店ではたらく人～



ここに注目!

地域には様々なお店があります。その中で、特に利用率が高いスーパーマーケットを取り上げ、販売店の工夫や働いている人の願いを学習していきます。また、消費者がどんな思いをもって販売店を選んでいるのかも考え、自らの消費行動について振り返ります。

商品がどこで作られているか
 見学しよう!



地産地消コーナーがあったよ。

スーパーマーケットで人を集める工夫を見つけていく中で、お客さんの安心・安全のために地元の新鮮な食材を扱う工夫に注目する児童がいました。そこで、掲示教材を使いながらエシカル消費について紹介しました。日頃の買い物の仕方を振り返る機会となりました。



可美小 鳥居恒平先生

B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費

対 象 : 6年生
 教 科 等 : 家庭科
 題 材 名 : 家族のために作ろう! 1食分のこんだて



これまでの食生活の学習の内容を生かして、栄養のバランスや色どりなどに配慮して献立を作成し、調理する題材です。じゃがいもの適切な調理法や、有機JASマークや食品表示、地産地消の利点などについてもふれ、消費者としていかに選択するかを考えます。



浜松市小学校家庭科
 消費者教育教材
 第6学年「じゃがいも
 を選ぼう」を活用

5種類のじゃがいもの
 メリット、デメリット

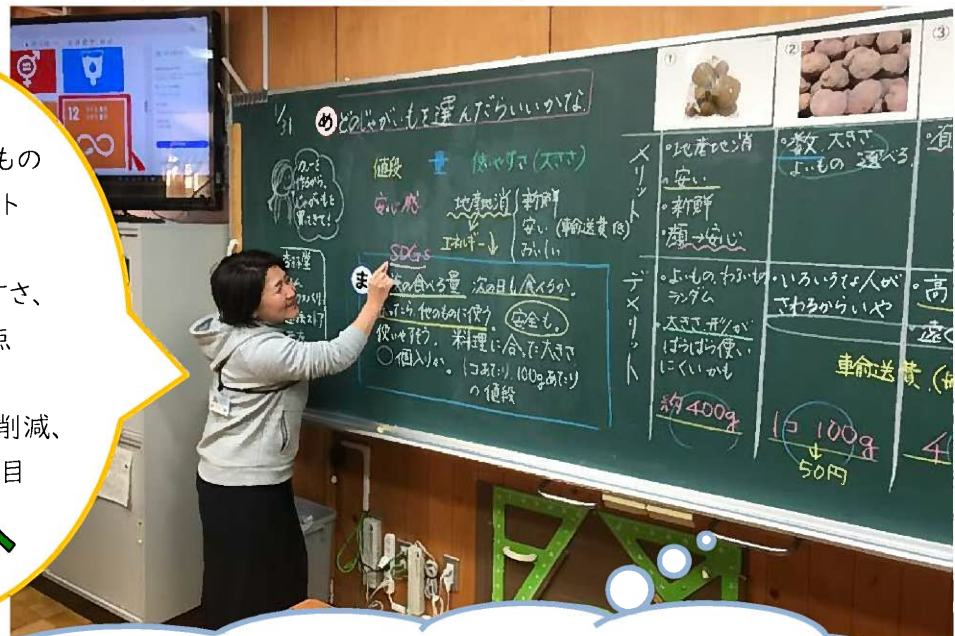


値段、量、使いやすさ、
 安心などの視点



地産地消や輸送費削減、
 廃棄量などに着目

SDGsへ



<児童のまとめより>

地産地消は、安心・安全だけでなく、遠くから運ぶよりもエネルギーを使わないという良いところがあり、SDGsにも関わっていると分かった。使う分だけにして買いすぎない。



蒲小 鈴木やよい先生

地産地消や輸送など、家庭科の学習と5年生の社会科の学習がつながりました。また、廃棄された食品の写真から、フードロスやフードバンクなど、社会生活にまで視野を広げることができました。学びが広がり、つながることで、よりよい判断ができるようになるのではないのでしょうか。

B 写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費

対 象 : 全校児童
 教 科 等 : 朝会での話
 テ ー マ : SDGs未来都市浜松
 ~あなたは、何を考える?~



全校朝会で話題提供することが児童の興味関心を深めると考え、朝会を活用しました。特に「わたしは、何ができるのか」を考えることにつなげることを目標にしました。



「広報はままつ」
 2020年1月号
 の活用

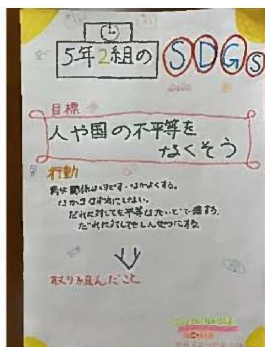
【朝会の様子】全校児童で話を聞くことが、興味付けに!



【朝会後の取組】掲示教材が、昇降口や各学年の掲示コーナーに貼られたことで、授業や児童自身の取り組みにつながることを期待しました。



4年生 社会科
 「住みよい暮らしをつくる」



5年生 学級活動「SDGs
 私たちもチャレンジしよう」



6年生 家庭科「共に生きる生活」

掲示資料がきっかけとなって、児童の世界が広がっていくことを期待します。実は、先生たちの視野も広がり、授業の工夫に結びつき、学びの楽しさが増すこととなります。



積志小校長 川村里枝先生

発 行 2020年3月
 浜松市市民生活課 くらしのセンター
 所在地 〒432-8032 浜松市中区海老塚町 51-1
 電 話 053-457-2635
 F A X 053-457-2814
 制 作 公益財団法人消費者教育支援センター

お買い物は商品・企業への「投票」です!

省エネ商品やエコ商品、フェアトレード商品などを選ぶことで、地球環境や社会に配慮した商品・企業を応援することになるのじゃ!

浜松市くらしのセンター